

## 変わらないもの

いよいよ今日で令和3年度の学校生活が終わりました。1年間の「みの丸」の航海がゴールへと到着しました。今、子どもたちの目にはどんな景色が映っているのでしょうか。

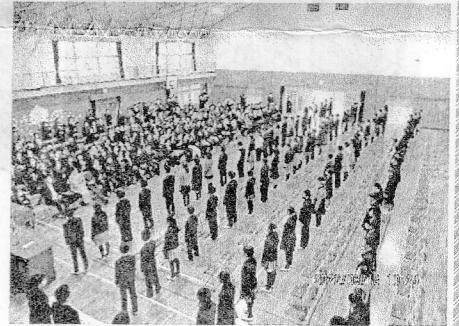
今年度は最後までコロナに翻弄され、思うようにいかないことばかりでした。さらに3学期になるとプレハブ校舎の建設が進み運動場が全く使えなくなるなど、不自由なことばかりでした。それでも御野っ子たちは毎日笑顔で精一杯頑張っていました。外で遊べないなら係活動をしようにと係の仕事を頑張ったり、自主的に掃除をしたりする姿も見られました。クロムブックを使って調べものをする子もいました。西運動場や体育館が使えるのは限られた回数で、相当ストレスもたまるのではと心配しましたが、子どもたちは今できることをしようと話し合い考えながら行動した、そんな3学期でした。苦しい環境にあっても、子どもたちの中には「伸びようとする力」がしっかりあるのだと改めて感じました。どんなときでも、どんな状況でも、笑顔で前向きに頑張る御野っ子たちの変わらない姿のなんと素敵なことか。この「変わらないよさ」をこれからも御野小学校では大切にしていかななくてはと思っています。ご家庭や地域で大切に育てられているからこそその落ち着き、明るさと優しさ、そして、何より素直な心。そんな御野っ子たちのよさがこれからもますます輝くことを願っています。

「みの丸」の帆は一度おろします。途中の荒波も子どもたちをさらに強く大きくしてくれました。次の航海も帆にいっぱい風を受け、ぐんぐんと前へ進んで行ってくれますように。御野っ子たちの次なる旅も楽しく充実したものになりますように。

ゆけ、みの丸！ボンヴォヤージュ！！

## 南館スケッチコンクール！

間もなく姿を変えていく南館。多くの先輩方がここで学び、長い歴史と伝統を刻んだ校舎の様子を子どもたちに少しでも多く記憶にとどめておいてほしくて、「南館スケッチコンクール」を開催しました。お気に入りの場所を見つけて、みんな熱心にスケッチをしていました。全校で50名を超える応募があり、掲示板には力作がずらり。雰囲気のある木製ロッカーやひび割れた廊下など、南館ならではの景色をしっかりと描くことができました。



3月18日 6年生が立派に巣立って行きました

